

地域経済応援と生産性向上のために 地産原料を活用した自動菓子製造装置の導入

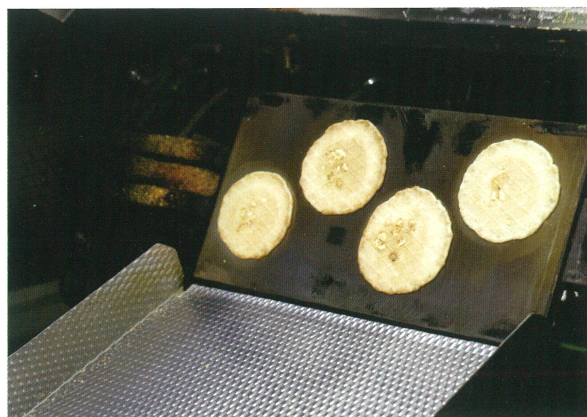
含水率の高い原材料の混入、多品種少量生産を可能に



釧路へ遊びに行った時のこと。駅でお土産を買ったところ、弟子屈の長谷製菓という会社の商品だった。釧路の土産を買ったつもりだったのに。翌日、複合商業施設でもお土産を買った。またしても長谷製菓の商品だった。釧路の製菓会社が地元を放棄したのか、自分の感性にフィットするのが長谷製菓だったのか。何れにしても道東圏でのシェアはかなり高いように思えた。さらに次の日は、もう土産物店には寄らなかった。…理由？また長谷製菓の商品が欲しくなるに決まってるからだ。

開発 動機

昭和の名横綱の出身地が弟子屈町であることから、40年以上もベストセラーになっている「大鵬せんべい」でお馴染みの長谷製菓。今回、地域経済応援と生産性向上を目指し、地産原料を活用するための自動菓子製造装置・インバーター変速式煎餅焼き機の導入を図った。現在までは1台の機械の型枠を変更することで数種類のせんべいを製造していたが、効率が悪かったようだ。「今は自社ブランド品の企画を考えなければならないんですけど、OEM製品(他社名義の生産受託品)の生産に追われてしまってる」と長谷社長。売上げは伸びているという。もちろん、道東圏でのシェアはトップクラスだそうだ。



実施 内容

地産原料についてはご承知のように、ここは日本の食品工場・北海道。「やっぱり北海道産の小麦粉、砂糖、牛乳などを使用することで、品質の良い製品を作ることができますから」。長谷社長の言葉からは地元に対する深い愛情を感じる。増設する以前からの機械は「大鵬せんべい」の専用機として稼働させるので、これからは新しい機械を汎用機として設定、多彩な美味しさを生み出して行く。

その第1号になったのは、もう半世紀以上愛され続けている「ピーナッツせんべい」。程良い焼き加減のせんべいのアクセントにピーナッツが乗った、誰からも好まれる美味しさだ。機器は多少の改良を行ったが、概ね良好に製造できていると言う。

事業 成果

新規機器の導入で生産効率が格段に上がったため、欠品なども無くなり売り上げには貢献しているようだ。今後は自社ブランド商品の拡充を図りたいとも。既存の機械とは違い生ものを原材料に使えるようになったので、「たらこ」を使用した新しい菓子や、せんべいにチョコレートをコーティングしたもの、ワッフルの製造なども予定している。

ちなみに、OEMの依頼主は東京にある、誰もが知っているあの菓子メーカーであると言うから驚いた。最初に請け負ったのは15年も前のこと。業界では有名な厳しい会社らしく、あそこ取引があるのなら大丈夫という評判で依頼は増える一方だったと言うのエピソードもあるぐらいだ。

今後の 展望

今後の展望として、さらにOEMを強化するのか聞いたところ「来てる依頼を全部受けてしまうと(納期が)間に合わないですからね」と苦笑した長谷社長。実は北海道の十勝地方にある、あの菓子メーカーからの依頼も受けているとか。生ものは自社で、その他はOEMという感じで振り分けているようだ。

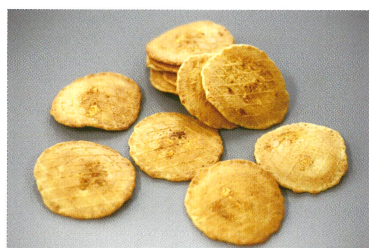
ヒット商品を作るのは難しく、マーケティングの結果だけでは答えが出ない部分が多いとも言う。最近では東京の百貨店で開催した物産展で1千万円以上の売り上げがあったようで、早くも次回の出展を促されているとも。瞬間風速的に大当たりした某タレント社長の会社の話もいろいろと伺ったが、この件には触れないでおく。

革新ポイント!

作業の効率化と同時に
多彩な新商品開発をサポートする自動菓子製造装置。



既存の機械とは違い生ものを原材料として使えるので、今までに無い新しい素材を生かした商品開発も可能に。



長谷製菓創業時からもう半世紀以上も作られている味、多くの方から愛され続けている「ピーナッツせんべい」。



次代の手がかかり

代表取締役 長谷寿人



昭和35年の創業以来、観光地として世界的に有名な霧の摩周湖のふもと、素晴らしい環境の中で个性的なお菓子の製造をしております。すぐ近くにはマリモでお馴染みの阿寒湖、また丹頂鶴の生息地で有名な釧路湿原もあります。また、ここ弟子屈町は昭和が生んだ名横綱・大鵬の出身地としても有名で、当社の観光みやげの第1号「大鵬せんべい」がロングセラーとして親しまれています。和菓子、洋菓子ともに、地元の素材を使い、多彩な美味しさを提供して参りますので、今後もよろしくお願い申し上げます。

は せ せ い か

長谷製菓株式会社

代表者名 代表取締役 長谷寿人

設 立 昭和35年

資 本 金 1,100万円

従業員数 70名

事業内容 和菓子、洋菓子の製造・販売

住 所 川上郡弟子屈町摩周2丁目4-7

電 話 015-482-1212 FAX 015-482-3361

U R L <http://www.hase-seika.co.jp/>

